

(4) スポーツマネジメント科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ年生

1) 活動主体

高知商業高等学校スポーツマネジメント科 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ年生 103名

2) 実施授業

スポーツマネジメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ年合同）

3) 授業の目的・ねらい

- ・ スポーツを通じて、「健康」「幸福」な状態を創造する人材の育成。
- ・ アスリートとしての責任（社会貢献）を認知し、地域の人と共にアスリートとしての活動を通して「健康」「幸福」になれるよう関わり方を学び、実践していく力を身に付けることをねらいとする。

4) 外部講師（敬称略）

講師氏名(所属)	主な講義内容
芹沢 翼 (一般社団法人 アスルクラロ スポーツクラブ)	①アスリートの社会貢献について ②キッズメニューについて1講義・演習 ③キッズメニューについて2講義・演習

5) 教科横断的な授業（2年のみ）

科目名	授業内容
地理総合	・ 南海トラフ地震について ・ 東日本大震災の被災地に訪問した時の話 ・ 防災についてスポーツ選手ができることは何か考える

6) 実施実績

令和5年

月日(曜日)	授業・会議	内容
4月30日(日)	会議	年間授業のテーマ決め
5月31日(水)	会議	6月来校に向けて授業内容打合せ
6月12日(月)	授業	・ 【講義】アスリートとしての役割・責任 地域貢献について（9つの社会貢献） ・ 【グループワーク】私たち（アスリート）は、9つの社会貢献を学び、何ができそうか考える ・ 【グループワーク】私たち（アスリート）にとって、良い立ち振る舞いを考える ・ 【グループワーク】私たち（アスリート）は、誰と関わられるか考える

月日(曜日)	授業・会議	内容
6月16日(金)	会議	8月の視察内容決め
6月21日(水)	授業	・【実技・講義】キッズリーダー資格取得実技・講義講習受講
7月31日(月) ～8月2日(水)	視察・ 打合せ	1日目 NPO法人まほろば南国スポーツクラブ訪問 2日目 高知市スポーツ振興課訪問 高知市教育委員会訪問 3日目 高知ユナイテッド事務所訪問 内田脳神経外科病院訪問
10月19日(木)	会議	10月来校に向けて授業内容打合せ
10月30日(月)	授業	・(講義)アスリートである私たちはどんな人と一緒に“スポーツ”ができるだろうか？考える ・(実技)キッズ4～6歳を対象とした運動メニュー(発達段階に応じた実践指導内容の体験)

令和6年

月日(曜日)	授業・会議	内容
1月6日(土)	会議	来年度のカリキュラムについて打合せ
1月10日(水)	会議	1月29日オンライン授業内容について打合せ
1月24日(水)	会議	来年度のカリキュラムについて打合せ
1月29日(月)	オンライン 授業 (2年地 理総合)	・南海トラフ地震について ・東日本大震災の被災地に訪問した時の話 ・防災について、スポーツ選手ができることは何か考える
1月31日(水)	会議	2月来校に向けて授業内容打合せ
2月2日(金)	授業	・(講義)発達段階に応じた実践指導内容を考える ・(実技)キッズ4～6歳を対象とした運動メニューの指導実践
3月15日(金)	課外活動	・塚ノ原保育園関係づくり、しっぽ取りゲーム ・園児と2年スポーツマネジメント科顔合わせ

7) 生徒の感想等

【1年生】 ○できたこと ▲失敗したこと ★気づいたこと

- 全体に指示する時にわかりやすくまとめることができた。
- グループで運動メニューを考える時に、「どんなことやろうか?」「ルールはどうする?」など 協力できた。
- 一人ひとりがコミュニケーションをとることで話し合いがスムーズにできたり、新しい考えが次々と出すことができた。
- 周りの人たちと助け合っできた。
- ▲ 説明をしている人の声が小さくて聞き取れないことが多くあった。
- ▲ ルール説明が大まか過ぎて思ったように伝わらなかった。
- ★ 言葉を慎重に選ばなければならないと思った。
- ★ 場のルール設定では、「ケンカしないように」や「さぼらない」とかのネガティブな言葉でなく、「仲良く協力する」や「楽しく全力で」というようなプラスでポジティブな言葉が良いのだと分かったので実際にやっというと思う。
- ★ 動きやルールを説明する場面では、言葉だけでなく、デモンストレーションをやった方が分かりやすいと思った。
- ★ 指導者の立場になって、自分が思うようには伝わらず、伝えることは本当に難しいと思った。

【2年生】

- 指導者は難しさもあるが、みんなが真剣に聞いてくれたり、楽しんでくれている姿を見て、自分も楽しいと感じた。
- 指示役やサポート役などの役割分担がしっかりできた。
- 子ども役としては、みんなと関わられて、仲を深められたと思う。
- 分かりやすく、体と脳が動かされるように約束事を決めて楽しくできた。
- ▲ 活動をさせる人数が多くて、活動量が少なくなってしまったので、2グループに分けたり、道具を増やしたりしたらもっと活動量を増やすことができたと思った。
- ▲ ルールを考えるのが難しかった。
- ▲ 指導役では、説明が不十分のところがあり、後からルールを付け足したが、うまくいかなかった。
- ★ もっと頭を使ったり、運動の強度を高くできる場所もあった。
- ★ 目標とルールをしっかり説明しておき、曖昧にならないようにする。
- ★ みんなが活動を楽しむために、ルールを的確に示すことがどれだけ大事なことを実践してみてよく分かった。
- ★ 子どもたちに教える時には、ふんわりした言葉掛けをしたり、目線を合わせることで距離感を縮めることが大事だと思った。
- ★ 盛り上げ方が上手なグループの活動が楽しかった。
- ★ 時間配分やメニューのルール作りを何パターンか考えて臨機応変に対応することが大事だと思った。

8) 授業担当者感想等

① 6月12日 アスリートの自覚を学ぶ(アスリートとしてあるべき姿)3つの自覚を学んだ。アスリートとは、こうあるべきという認識をさせる内容である。

1つめは、『アスリートには社会的な立場がある』ということ。アスリートには社会に貢献する役割があり、その役割を果たしていくと自覚すること。アスリートの社会貢献には(1慰問・交流・奉仕活動, 2講演会, 3スポーツ指導, 4啓発活動, 5イベントの開催・参画, 6スポーツ環境整備, 7経済的な支援・寄付, 8試合への招待, 9物資提供)がある。そしてアスリートとは、これらを通して社会的立場の責任を果たさなければならないことを学んだ。2つめは、『自分の表現ではなくて、見られ方も大事になる』ということ。アスリートは見られ方も大事である。自身の言動は、自分だけでなく学校や仲間を巻き込む可能性があることを自覚すること。自分の言動は、個人ではなく“高知商業”として見られていること。よって客観視する視点を持つ重要性を学んだ。3つめは、『プロ選手にも様々な研修がある』こと。学生が目指すトップアスリートは、競技についての練習や試合だけでなく、様々な研修を受けてよりふさわしいアスリートになるために学び続けていることを知った。これらのアスリートとしての土台を学び、高知商業スポーツマネジメント科が高知にできる事を考えた。

問1 ●プレプロ(アスリート)にとって良い立ち振る舞いは?(グループワーク)

笑顔であいさつをする・礼儀正しい・時間を守る・相手のことを考えて行動する・常に全力・謙虚・言葉使いが丁寧・常識がある・素直・感謝の気持ちを持っている・他人に優しい・服装が整っている・堂々としている・清潔感がある・交通ルールを守る・スリッパを揃える・物を大切にしている・掃除をする・姿勢が良い・遠征先での態度が良い・ハキハキしゃべる など
(自由に出し合った付箋から抜粋)

問2 ●地域でできそうなことは何かありますか?(グループワーク)

高齢者のお手伝い・試合で勝つ・スポーツを教える・一緒にスポーツを行う・スポーツ体験・募金・ボランティア・地域清掃活動・自分の経験を次の世代に伝えること・小学校, 幼稚園, 保育園でスポーツ交流・高齢者とスポーツをする・草引き・地域体育館の掃除・地域の祭りに参加する・植樹・炊き出し・高齢者と食事をする・災害時(後)の復旧作業・商業全体でよさこい参加・錬歩会で地域交流・寄付活動 など
(自由に出し合った付箋から抜粋)

問1への回答から、アスリートにとって良い立ち振る舞いのイメージは明確に持てていることが分かった。この出てきた理想の姿が、自分達の姿と重なり、生徒の言動が変化するきっかけになったのではないかと思うが、変容を調査しておらず客観的なデータはない。来年度は、アンケート等でデータを取り、変化を客観的に示すことのできるようにする。

問2への回答から、生徒ができそうだと感じている社会貢献について出し合い、取り組む方向性を絞ることができた。

6月のスポーツマネジメント科の実習にて、公認キッズリーダー資格を取得したことと、生徒ができそうだと考えている社会貢献活動の中で関連していた、**幼稚園児や保育園児を対象とした活動**を、来年度の活動の方向性とした。

- ② 10月30日 発達段階に応じた実践指導内容の体験（キッズ4～6歳を対象とした運動メニュー）を行った。

前回の取り組みから生徒ができそうな社会貢献活動として、幼稚園児や保育園児を対象とした活動を実践していくこととなった。そこで今回では、年齢に応じた指導ができるように、適齢に応じた指導の基礎を学んだ。1 適齢が分かれば指導がし易くなる。2 目的があると習得度は変わる。3 発達心理を知る。（好奇心→集中→我慢→思いやりの順でできるようになる）そして、幼児期に養いたい3つの力①コミュニケーション力②身体を養う（身体能力・神経系）③判断・決断力を養う。を学んだ。この3つの力が幼児期に養われると、その後の競技力向上につながるということも学んだ。これらの知識を持った上で、実際にキッズメニューを体験した。

- ③ 2月2日 実践指導に向けたトレーニング（高校生がキッズ役となり、実践指導）

この回では、まず始めに講義により実際の運動メニューづくりをする際の留意点を学んだ。1 ルール作りと、2 子どもへの接し方である。1のルール作りでは、実践指導をする時の指導する側が、この場をどのような場にしたいかという“場の設定”であった。例えば、「説明の時には、目とおへそを向けて聞く」や「みんなと協力する」などである。また、その表現は「～しない」という否定的な表現ではなく、「～する」という肯定的な表現が良いと学んだ。2の子どもへの接し方では、「子どもを尊重すること」「視線を合わせること」「欲求段階を満たしてあげること」が重要であると学んだ。特に、欲求段階の充足により「行動」が発現するという心理的側面での知識の理解は、生徒にとって新たな視点であった。それらの内容を踏まえて、グループになり運動メニューを作り、実践を行った。

始めに、指導役の生徒による「場の設定」の説明、次に運動ルールの説明、そして指導実践、最後に指導実践を行った後の振り返りを行った。

9) 授業風景 (画像)

▼ 6月12日(月) スポーツマネジメントⅠⅡⅢ授業 ①段階 土台作り



▼ 6月21日(水) スポーツマネジメントⅠⅡⅢ授業 キッズリーダー資格取得の講義・実技



▼ 10月30日(月) スポーツマネジメントⅠⅡⅢ授業 ②段階 体験



▼ 2月2日(金) スポーツマネジメントⅠⅡⅢ授業 ③段階 実践練習



- 研修中、次の2点を質問した。
 - 1. 主体性と質、どちらを高めるべきか
 - 2. 全体（チーム）と個人、どちらの目標が大切か鈴木講師の回答を自分なりに解釈すると、
 - ① 割合を決める
 - ② 個人で決めさせる
 - ③ プロジェクトごとに比重を変える
 - ④ スモールステップで捉えるとなった。まさに生徒一人ひとりに応じた個別最適化につながると感じたので、上記に示した取り組みを実践したい。
- 今回の研修を通して、これから求められる力は①新たな価値を創造するから力、②責任ある行動をとる力、③対立やジレンマを克服する力だということが確認できた。
- 本日の研修は、普段聴けない講師からの講演だったので、色々と幅広く知識を獲得できた。また、今年の3月8日の中央教育審議会の総会において、「次期教育振興基本計画」を取りまとめている話を聴いて、早速その文書にアクセスしながら講演を拝聴した。

来年度で高等学校は、新学習指導要領の完成年度になり、共通テストの科目の一新や大学の個別試験も変化する中で、早くも国は次世代の教育に向けて検討していることを聴いて驚いた。そこに関わる人たちは常に研究を重ね、時代を先読みし、理文関係なく幅広い知見と都会や地域へ赴く行動力で国の教育を動かしているんだと実感し、非常に魅力的な仕事に見えてきた。

一つ疑問なのは、STEAM教育の中にあるARTは、より時間がかかるものであるので、5年、10年のスパンで評価をするのは時期早尚に思えてならない。提唱された2017年頃から比較するとSTEAM教育を一時期から耳にしなくなったのは、私だけだろうか？
- 研修を通して、商業教育、商業科目での学びから生徒のwell-beingを高めていくこともできるのではないかと感じた。

鈴木教授のお話で特に印象に残ったことは、これからの学びの目標は、「この人と一緒に働きたい（ともに価値を創造したい）と声をかけ、声をかけられる若者になる。」このような生徒を育てるためには、まず教員のwell-beingを高めなければならないと感じた。教員自身が「新たな価値を創造する力、責任ある行動をとる力、対立やジレンマを克服する力」を身につけるためには、様々なこと学び、体験し、変わることでできる人間でなければならないと考える。
- 「これからの学校教育＝これからの学びの目標」であるという点である。
- 「強い意志を持った小さなグループが世界を変えてきた」のであって、「昔でできた人がおり、自分もできるかもしれないと、自他を信じ行動すること」が希望であると感じさせてもらった。

教員、生徒で力を合わせて、社会改善のためにできることを考え行動していきたい。

2) 全日制Ⅳ（定時制Ⅲと合同開催）

日 時：令和5年12月5日（火）13：30～16：20

開催場所：高知商業高等学校 食堂

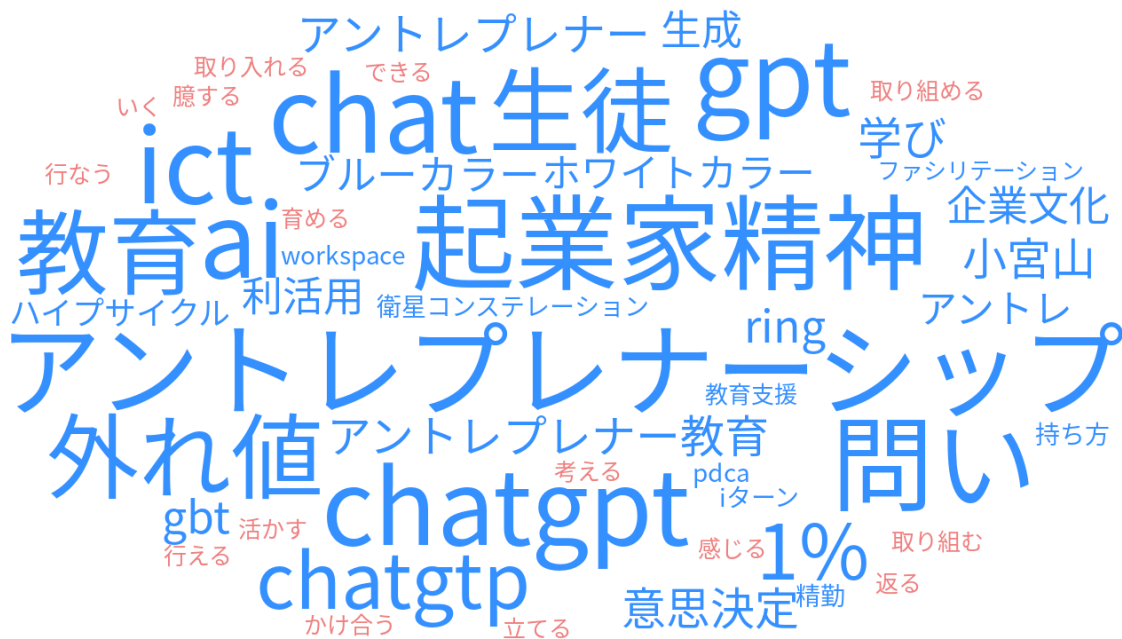
主 催：高知市教育委員会

参加者：全日制教職員63名，定時制教職員7名，教育委員会2名（計72名）

講 師：小宮山 利恵子 准教授（東京学芸大学／スタディサプリ教育AI研究所）

演 題：「海外の教育事情，アントレプレナーシップの実践」

【研修の記録より】▼記述部分をテキストマイニングした図



- 小宮山先生が目や心は常に外を見ている。広く見ている。だから挑戦するし、海外に行く。自分の歳を考えると…である。講演を通して感じた事は、「不」を探す＝課題発見という事でそこから解決に向けてやる事を探していき、ゴールを目指すという事だと感じた。
- 新規事業に大切なことは①コミットメント，②新しい価値を産もうとする企業文化，③「育てる力」と「やめる力」の両利きであるという話から，生徒の起業だけでなく，私自身も働く環境づくりや立場においてできることは沢山あるんだと考えさせられる1日となりました。この講演で聴いたことは，すぐに挑戦できる心の持ち方や行動であるため，すぐにでも行動に起こしていきたいと考えます。
- 私自身，プロジェクト学習を扱う授業を担当する機会が多く，生徒に「挑戦しなさい」と声を掛けることが多くあります。しかし，そのためには生徒への仕掛け（講演会・ブレスト・パネルディスカッション・外部講師）が必要であるということを改めて痛感することができました。生徒の「創造力」の向上に向け，異なる視点を取り入れることや，柔軟な思考を生み出すための工夫，自由な発想を評価するための方法について研究・実践していきたいと思えます。

○ AI や ChatGPT などを活用した授業を体育でどのように展開していくかを体育教員で考えていかなければいけないと感じた。保健の授業では活用用途があるように感じるが、体育の授業では難しく感じる。また ChatGPT を生徒が使いこなしていくと、教員の指導はどうなるのか？生徒の ChatGPT の解答と教員の ChatGPT の解答の出し合いになるときのどのような展開になっていくのか？若い教員が ChatGPT を使うことによる教員のスキルアップは本当に行えるのか？など依存しすぎるようになるのではないかなど心配事はあるがまずは使ってみようと思う。

○ AI が入ってきたことで、必要になる力として、①問いを立てる力②問いを言語化して AI とコミュニケーションできる③返ってきた答えを評価できる④返ってきた選択肢から意思決定を行って実習できる、といった力があることをご示唆いただいた。

アントレプレナーシップの定義として、視点→疑問→問い→自分で考える→行動するといったものがあり、これらの考え方は、日本人が置かれている状況①競争力の低下②雇用形態の変化③不確定な時代への対応、といったところが大きく関係しているとのことであった。

○ 学び続けていないと生きていられなくなる。

Keep Changing, Keep Challenging

AI が人間の脳を越えていく… Global Index で最新の技術を紹介している生成 AI (ブルーカラー (単純作業労働者) が影響を受けると言われていた) が、ホワイトカラーの人が影響を受けることがわかった → AI はコンテンツの作成、疑似容姿の作成など一部は頼らなければならない。生成 AI は Creativity も精度を上げてくる。事務職は AI に代替される → AI を頼りながら人間の力で新しい価値を創造できる人材育成。

生徒は ChatGPT を用いて、対話を通して新しい単語や表現を学ぶことができる。文法や表現の正確さをチェックするために使用できる。Voice control for ChatGPT というアプリで可能。AI を使用する際、機密情報を入れない、出てきた答えを事実をもとに評価することが重要。これからの社会は「中央値 (最大公約数)」より「外れ値」を持っている人が重宝される。

○ 「不」を探す。自らの「常識」「既存の価値観」の破壊するところから始める。定期的に自分の常識を疑う。価値観を破壊するというワークを入れていくことが大切だと感じた。その訓練をしていないと、高校生の考えを、自分の物差しで評価し、高校生の可能性を掴む恐れがあると感じた。

○ フィンランドの教育について十数年前に話題になった際、資料を購入して読み、簡単な実践をしたことがある。先日発表された国際学力検査でフィンランドの順位が下がった。しかし、その方向性は今の高校生に必要であると思う。新しい価値を創造するためにも「まずは常識、既存の価値を破壊することから始める」ということがもっとも印象に残っている。これからは生徒自身が考え、行動するための材料提供をしていきたい。そして、生徒がたてた計画と実践、振り返りを適切に評価する方法を確立する必要がある。

(2) 自己課題研修

本校は、教職員一人一人の実践上の課題について独立行政法人教職員支援機構のオンデマンド研修等を活用するほか、社会の変化を捉えた講座や自らの専門性を高めるための各種指導者講習会やリスキリング等、それぞれが独自に研鑽を積み自己の資質・指導力の向上を図っています。

▼ 自己課題研修実施要項

令和5年度 高知市立高等学校教職員研修「自己課題研修」実施要項

1 目的

教育に関する基本課題や一人一人の実践上の課題について、自ら学び続ける意欲をもち、課題意識や探究心をもって研鑽を積み、高知市立高等学校の教職員として自己を高め、資質・指導力の向上を図る。

2 対象者

高知商業高等学校全日制及び定時制教職員（ただし、初任者研修、2・3・7年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、主幹教諭研修対象者、初任者研修教科指導員等研修対象者、臨時的任用教員研修対象者、日本教育公務員弘済会教育実践研究論文執筆（応募）者、高知市教育研究所研究員、令和5年度文部科学省指定事業報告書等作成者を除く。）

3 研修期間及び実施日

研修期間は4月から2月までの期間のうち3日間とする。参加又は実施する研修は原則休業日内とし、主に夏季休業中等に参加又は実施することとする。

4 自己課題研修の対象となる研修及び提出物

	対象となる研修	提出物	備考
(1)	高知市立高等学校教職員研修のうち研修番号 高23～高33の指定研修、高37～高39の希望参加研修	① 自己課題研修【申請書兼報告書】(様式1) ② 実施要項等 (PDF)	研修番号は「令和5年度高知市立学校教職員研修要項」参照
(2)	県教育センター主催の専門研修、県・市・学校・市町村教委等、これに準ずる機関の主催及び後援の研修会等又は、専門分野研究のための関係機関における研修	① 自己課題研修 (申請書兼報告書) (様式1) ② 実施要項等 (PDF)	
(3)	○ 高知県進学協議会が実施する「教員研修プログラム」に該当する研修 ○ 「こうち人づくり広域連合」が実施する研修 (全日制教員のみ)	① 自己課題研修【申請書兼報告書】(様式1) ② 実施要項等 (PDF)	1日間の研修については自己課題研修2日間、2日間の研修については同3日間とみなす。
(4)	高知市教育委員会学校教育課によって受理された自主企画研修	① 自主企画研修【申請書】(様式2) 申請者のみ ② 自己課題研修【申請書兼報告書】(様式1) ③ 実施要項等 (PDF)	申請者は、(様式2)を提出。高知市学校教育課と協議後、実施要項等を告知し実施する。
(5)	独立行政法人教職員支援機構のオンライン講座のうち校内研修シリーズ及び新学習指導要領編	① NITSオンライン講座【申請書兼報告書】(様式3) ② 視聴講義№・講師及び講義名が確認できる講義資料 (PDF)	3講義で1日間の研修とみなす。

5 研修報告書提出方法・送付先

研修終了後2週間以内に、研修の成果をまとめ、統合型校務支援システムのメッセージ機能にて、**研修主任あて**に送付する。

6 最終提出期限

令和6年2月16日(金)

3 外部機関等との連携

(1) 福岡県立糸島高等学校（第2年次 第2回実践発表・公開授業）への視察

日 時：令和5年11月7日（火）11：25～16：30

場 所：福岡県立糸島高等学校

参加者：2名（研修主任，情報マネジメント科教諭）

日 程：11：00～11：20 受付

11：25 学校長あいさつ

福岡県教育委員会あいさつ

11：35～12：25 公開授業Ⅰ

12：25～13：10 昼休憩

13：10～14：00 公開授業Ⅱ

14：10～15：00 全体協議会

（公開授業Ⅰ・公開授業Ⅱの授業担当者自評及び受講生徒の感想）

15：10～16：00 第2年次事業内容説明（中間発表）

(1) 第2年次事業内容説明

(2) 事業に取り組む生徒発表及び意見交流会

（衛星データの利活用他）

16：00～16：30 質疑応答

16：30 学校長あいさつ

16：40～ 情報交換



(2) 佐賀県立伊万里実業高等学校（主幹教諭・高校コーディネーター）との協議

日 時：令和5年11月30日（木）11：30～17：10

場 所：高知商業高等学校

訪 問 者：2名（世戸 直明 主幹教諭，坂口 憲一 高校コーディネーター）

依頼事項：学校紹介，校内見学，「課題研究」の授業参観，意見交換

日 程：13：00～ 来校

本校の資料冊子等お渡し

13：30 学校長あいさつ

11：35～14：25 公開授業Ⅰ

14：25～14：35 休憩

14：35～15：25 公開授業Ⅱ

15：30～17：00 協議・意見交換

（公開授業Ⅰ・公開授業Ⅱの授業担当者等・教頭・研修主任と協議）

17：00～17：10 学校紹介動画

17：10 教頭あいさつ



4 成果発表・成果普及

(1) 課題研究発表会及び市商地域創造プログラム報告会

日 時：令和6年2月13日（火）13：00～16：00
会 場：高知県立県民文化ホール オレンジホール

令和5年度 高知商業高等学校
課題研究発表会 市商地域創造プログラム報告会 発表紹介（発表順）

■『課題研究発表会』

1. 社会マネジメント科 国際コース

高校生がつなげる食の未来

私たち国際コース35名は一人ひとりが国際貢献、フェアトレード、食品ロス削減をテーマに、プロジェクトを企画しました。

今、私たちは、飢餓をテーマに「レンゲ畑とジャガイモ畑」に取り組んでいます。JA様のご協力をいただき、市内に畑を借り、植え付けまで進みました。本来なら、園児、保護者の方にジャガイモ掘りを体験していただき「食」について考えてもらっているところです。しかし、昨年の12月、一部の企画が振り出しに戻りました。今回は、これまでの過程、学びなどを発表します。



2. 社会マネジメント科 地域実践コース

食で食の課題を解決！？～旭地区のコミュニティ形成を目指した地域実践モデル～

私たち社会マネジメント科地域実践コースの研究テーマは「誰がどうなれば旭地区のコミュニティが形成されたといえるのか」。コロナ禍が明け、地域活動が再開したことは嬉しいことですが、地の課題に目を向けてみると、物価高や高齢化による人手不足、コミュニケーションの希薄化など地域の課題は山積です。一步、校舎の外に出てみると、学校のすぐそばに、その「課題」はありました。「食で食の課題を解決！？」私たちの挑戦をぜひ、お聴きください。



3. 総合マネジメント科 特進コース

高知の未来～高校生の私たちにできること～

私たち特進コースは今年度、SDGsの17の目標について各々が調べ、その背景や課題、自分たちにできる解決策などについて研究してきました。学習を進めれば進めるほど、その達成状況への不安やもっと多くの人に知ってもらいたいという思いを強くしました。課題研究を通して、私たちができることや、将来、私たちがどう活躍できるかなどを考え、研究したことについて発表します。



4. 総合マネジメント科 ライセンスコース

ビジネスプランの創造 ～社会課題を新たな価値へ～

総合マネジメント科ライセンスコースでは、簿記・マーケティング・情報処理・ビジネス経済といった授業を通してビジネスについて総合的に学習してきました。今年度はこれまでの机上での学びを活用し、社会課題から新たな価値を生み出すビジネスプランを創造することに挑戦してきました。私達の3年間の学びの集大成をビジネスプランという形で発表します。



5. スポーツマネジメント科

高知をスポーツで元気にするⅡ～高知をスポーツで元気にすることができるのか？～

私たちスポーツマネジメント科は、昨年度に引き続き「高知をスポーツで元気にする」をテーマに取り組みしました。今年度は各自が高知県のスポーツ界の課題から「提案する」だけでなく、実際に【体験する】ことにより、自分事としてのリアルな【課題】を浮き彫りにして解決策を見出すことにしました。「市商のスポーツマネジメント科が本気で高知のスポーツを変革する」ことを目指します。この取り組みは後輩達にも引き継ぐことにしています。



令和5年度のねらい

4つの学科コースに広がって展開



①外部知(コンソーシアム)の広がり

- ・高知大学次世代地域創造センター
- ・科コースを支援する外部講師

②科目を越えた学びへ

- ・教科横断的な学びのカリキュラム構築
- ・新たな視点による市商マネジメント力の育成

市商地域創造プログラム

統一テーマ「地域を創造する市商」

総マネライ

アントレプレナーシップで高知県の未来を創造する。

社マネ

「世界とつながる地方創生」に貢献できる人材になる。

情マネ

「情報」を活用して高知に貢献できる人材育成

スポ科

スポーツで「健幸」な地域づくり

■『市商地域創造プログラム報告会』

1. 総合マネジメント科 ライセンスコース

アントレプレナーへの挑戦～資格取得のその先へ～

総合マネジメント科ライセンスコースでは、2年生からアントレプレナーシップ力を身につけるための挑戦が始まりました。本年度は学校づくりから起業を体験するスクールラボ、修学旅行での都内企業研修、そしてアントレプレナーシッププログラム「Startup base」に参加し、自分たちのオリジナルビジネスプランを考えてきました。これらの活動から、何を学び、どのような力を身につけることができたのかを発表します。



2. スポーツマネジメント科

スポーツで「健幸」な地域づくり

私たちスポーツマネジメント科は、私たちが日々関わっているスポーツで、「健康」で「幸せ」な地域にするための取り組みの報告をします。そのためにアスリートとしての責任を学び、講義と実技で対象とする年齢に適したスポーツ指導を学ぶ。それらを踏まえて実践していくなかで、市商マネジメント力を伸張させながら、社会に貢献していく方法や考え方を学び、実践していく力をつけていきます。その活動を通して、地域を愛し、地域から愛される市商生になります。



3. 社会マネジメント科 地域実践コース

高知の光を観て～私たちが地域実践コースで学ぶ意義～

社会マネジメント科地域実践コースは、「高知に貢献できる人材になるために、地域の“光”にスポットを当てる」をテーマに学びを進めてきました。

「なぜ観光を学ぶ必要があるのか？」

「地域に貢献するってどういうことだろう？」

自分達の疑問の答えを見つけるべく多くのプロの方々と出会い、答えを探してきました。

これらの活動から、得た学びと課題について報告します。



4. 情報マネジメント科

デジタル技術で高知をクリエイト！

情報・デザインを学んできた私たちが自分たちにできることを考え、企画・実践したことを発表します。

①ビーチサンダルデザインプロジェクト(2年)

②ICT出張講座(3年)

③大豊町プロジェクトマップ(3年)

「0から1の道は1から100の道より険しい。」

私たちの奮闘の記録を聞いてください！



(2) 公開授業

令和5年度研究テーマ

「生徒が思考を深め主体的に活動する指導言で教えるからコーディネートへ」

- ① 学力の3要素「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を意識して授業をします。
- ② 市商マネジメント力 「コミュニケーション力」「課題発見・課題解決力」「プレゼンテーション力」「講義理解力」「ICT・英語活用力」「察する力（企画・説明・行動・言われなくてもできる力）」「失敗から学ぶ力（創造する力・挑戦する力）」を育成します。
- ③ 高知商業「授業規律スタンダード」「授業実践スタンダード」を実践します。

令和5年度 高知商業高等学校研究授業 一覧表									
・参観希望の授業を6つ書いて下さい。(「空いている所ならどこでも」は大歓迎) ・ご自身の事前検討会日を書いて下さい。(記入ない場合は1週間前に設定します)									氏名()
1学期									
氏名	教科	事前検討会日	授業実施月	曜日	時	実施クラス	場所	参観希望	
1	英語	論・表	6月6日	火	5	1-1	AL室		
2	保体	保健	6月7日	水	1	1-3	1-3		
3	保体	保健	6月8日	木	1	2-5	2-5		
4	数学	数I	6月8日	木	3	1-6	1-6		
5	商業	原計	6月9日	金	1	2-1	2-1		
6	音楽	音楽	6月9日	金	4	3-4,7	音楽室		
7	保体	体育	6月12日	月	4	2-3,4,5,6	テニスコ		
9	地公	視社	6月12日	月	5	3-7	3-7		
8	保体	体育	6月12日	月	6	1-1,2,7	プール		
10	国語	言語	6月12日	月	4	1-7	1-7		
11	理科	生基	6月16日	金	3	2-5	2-5		
12	国語	現文B	6月21日	水	5	3-3	3-3		
13	数学	数A	6月22日	木	2	2-8	2-8		
14	書道	書道	6月22日	木	4	3-1	書道室		
15	商業	グロ経	6月26日	月	2	2-6	2-6		
16	保体	体育	6月26日	月	6	1-1,2,7	体育館		
17	商業	財会I	6月27日	火	2	2-3	2-3		
18	数学	数II	7月10日	月	6	3-4	3-4		
2学期									
19	英語	EC I	9月5日	火	3	1-2	1-2		
20	商業	財会I	9月6日	水	4	1-4	1-4		
21	国語	現文B	9月11日	月	1	3-6	3-6		
22	商業	ソフ活	9月11日	月	3	2-7	情処1F		
23	商業	ソフ活	9月11日	月	4	2-2	PC②		
24	商業	原計	9月12日	火	2	2-4	2-4		
25	理科	科大	9月12日	火	5	1-5	1-5		
26	商業	ソフ活	9月12日	火	6	2-2	PC②		
27	英語	EC I	9月12日	火	6	1-5	1-5		
28	保体	体育	9月14日	木	2	3-1,2,7,8	体育館		
29	保体	保健	9月14日	木	2	2-4	2-4		
30	英語	EC II	9月14日	木	5	2-8	2-8		
31	家庭	家総	9月14日	木	6	2-6	2-6		
32	英語	EC II	9月15日	金	3	2-7	2-7		
33	国語	現国	9月15日	金	5	1-5	1-5		前週か翌週になる可能性あり
34	地公	地総	9月19日	火	1	2-6	2-6		
35	商業	課研	9月19日	火	3	3-7	3-7		
36	国語	文国	9月19日	火	3	2-5	2-5		
37	地公	地総	9月19日	火	4	2-7	2-7		
38	商業	ビ基	9月20日	水	3	1-5	1-5		
39	保体	保健	9月22日	金	1	1-1	1-1		
40	数学	数II	9月22日	金	3	2-2	2-2		前週か翌週になる可能性あり
41	保体	保健	10月4日	水	4	1-6	1-6		
42	美術	美術	10月12日	木	4	3-1	美術室		
43	英語	EC I	11月1日	水	1	1-6	1-6		時間は現在 市教委と調整中
44	保体	保健	11月9日	木	1	1-2	1-2		
45	理科	生基	11月9日	木	3	2-1	2-1		
46	家庭	家総	11月13日	月	6	3-2	3-2		
47	数学	数I	11月17日	金	2	1-1	1-1		
48	理科	物基	11月22日	水	4	2-7	2-7		
49	国語	現国	11月24日	金	1	1-3	1-3		
50	商業	グロ経	11月27日	月	1	2-5	2-5		
51	商業	グロ経	11月29日	水	3	2-4	2-4		
52	商業	簿記	11月30日	木	2	1-1	3F特別室		
53	商業	プロ	11月30日	木	3	2-7	情処2F		
3学期									
54	商業	ソフ活	1月18日	木	4	2-6	PC②		
55	商業	ビ経店	1月18日	木	5	3-2,3,4	3-2		
56	地公	公共	1月19日	金	4	1-3	1-3		
57	商業	ソフ活	1月23日	火	1	2-5	PC②		
58	英語	EC I	1月24日	水	1	1-1	1-1		
59	英語	EC II	1月24日	水	2	2-1	2-1		
60	商業	観光	1月26日	金	3	2-6	2-6		
61	英語	EC I	1月29日	月	1	1-7	1-7		
62	商業	情処	1月29日	月	5	1-7	情処2F		
63	国語	論国	1月30日	火	5	2-1	2-1		
64	商業	簿記	2月1日	木	7	2-8	2-8		
65	地公	日探求	2月5日	月	4	2-1	秘書室		
66	地公	世探求	2月6日	火	4	2-1	2-1		
67	商業	財会I	2月6日	火	6	2-7	2-7		
68	国語	古探求	2月8日	木	1	2-1	AL室		
69	商業	情処	2月8日	木	2	1-4	PC⑤		
70	商業	原計	2月9日	金	1	2-4	2-4		
71	商業	マーク	2月9日	金	6	1-3	1-3		

対象者は、一年に公開授業を1回、参観授業を2回実施します。公開授業は、学期ごとに教育機関や保護者に案内文書を配付しております。日頃から生徒の様子を知っていただくとともに、本校の授業への理解を深めていただく機会になっています。

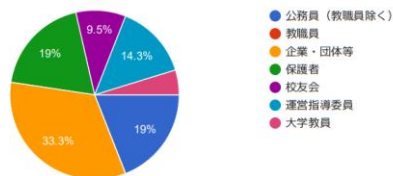
5 成果検証

(1) アンケート調査

■ 課題研究発表会及び市商地域創造プログラム報告会ご来場者アンケート（回答率68%）

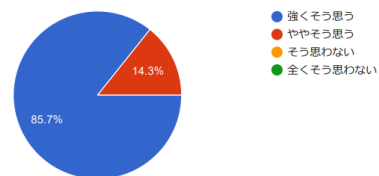
本日も越しいただいた皆様は高知商業にとってどのような関係にあたるお立場かお答えください

21件の回答



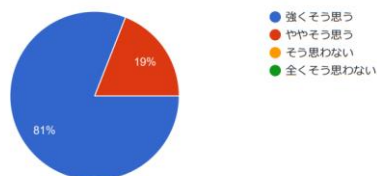
生徒たちが取り組む活動は、地域住民からの高知商業に対する評価を高めていると感じますか？

21件の回答



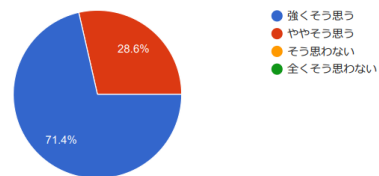
探究的な学びや教科等横断的な学びに取り組むことは、本校生徒の主体性や意欲を高めていると感じますか？

21件の回答



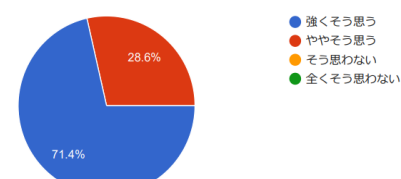
生徒たちが取り組む活動は、中学生からの高知商業に対する評価を高めていると感じますか？

21件の回答



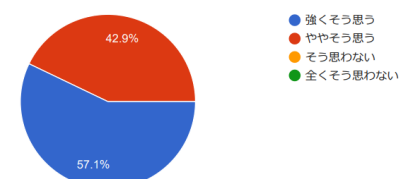
探究的な学びや教科等横断的な学びに取り組むことは、本校教職員の主体性や意欲を高めていると感じますか？

21件の回答



文部科学省事業（創造的教育方法実践プログラム）に取り組むことは、外部からの教職員に対する評価を高めていると感じますか？

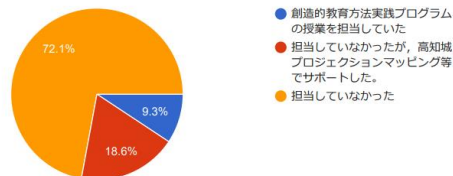
21件の回答



■ 創造的教育方法実践プログラムに係る教職員アンケート（回答率70%）

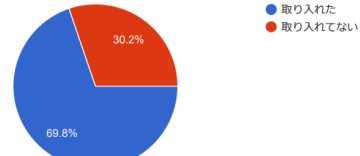
1 令和4年度 創造的教育方法実践プログラムの授業を担当していましたか？

43件の回答



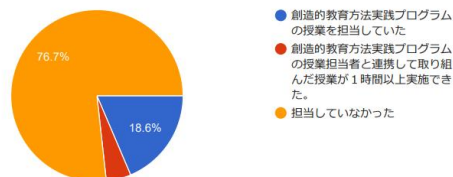
3 令和4年度までの教職員研修（探究学習入門・ルーブリック評価入門）を受講し、「本質的な問い（何故・どうして）」や「ルーブリック評価」を1回でも授業で取り入れましたか？

43件の回答



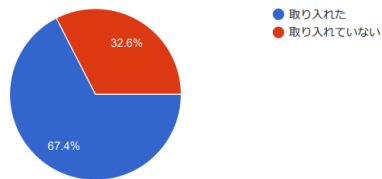
2 令和5年度 創造的教育方法実践プログラムの授業を担当しましたか？

43件の回答



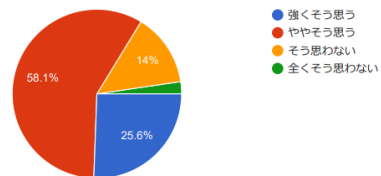
4 令和5年度に探究的な学びや教科等横断的な学び（他教科・他科目・他学年・他校種・他地域・外部講師等と連携した授業）を1回でも授業で取り入れましたか？

43 件の回答



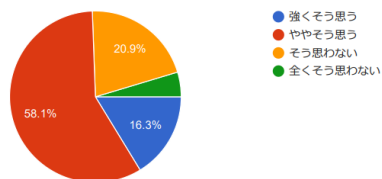
7 生徒たちが取り組む活動は、地域住民からの高知商業に対する評価を高めていると感じますか？

43 件の回答



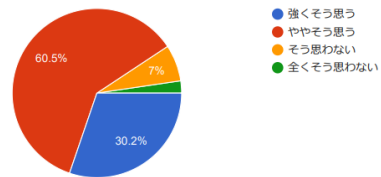
5 探究的な学びや教科等横断的な学びに取り組むことは、教職員の協働性や同僚性の構築に良い影響を与えると感じますか？

43 件の回答



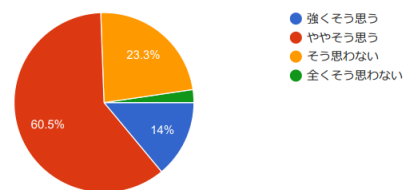
8 生徒たちが取り組む活動は、中学生からの高知商業に対する評価を高めていると感じますか？

43 件の回答



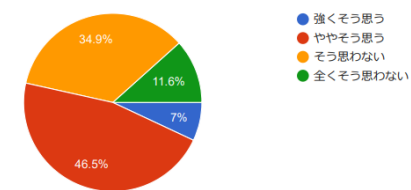
6 探究的な学びや教科等横断的な学びに取り組むことは、教職員の主体性や意欲を高めていると感じますか？

43 件の回答



9 文部科学省事業（創造的教育方法実践プログラム）に取り組むことは、外部からの教職員に対する評価を高めていると感じますか？

43 件の回答



(2) 運営指導委員会の協議内容

(議題1) 報告内容に対する評価及び外部評価による高知商業の魅力の発見や確認

① もっと現場に出る・踏み込む

- ・ 県内をよくまわっているなど感じました。現地に出て、失敗してみる。そこで、わーっと感じてみるのが大切で大事な経験になると思いました。
- ・ インターネットで情報収集したレベルを超え、社会に出て、実体験する。もっと踏み込み、汗をかいて勉強することが大切です。中にはネット情報かなと感じるものがありました。
- ・ 貧困については、無医村地区に実際に踏み込むといったような実体験をともなう踏み込みが大事だと考えました。

② 教員の役割・支援の仕方（突っ込み・切り返し・課題設定力）

- ・ 着眼点良かった。先生方には、子ども食堂がなぜ必要かといった質問を投げかけ、生徒にもっと踏み込んで考えさせてほしい。
- ・ 商業高校の生徒がなぜ農業か、先生がそこにどう切り込んだのか知りたいと思いました。

- ・ 情報の発表で出てきた教員からの突っ込み。すごく大事です。そういった先生をぜひリーダーとして、その手法を広げてほしい。
- ・ 少ない情報ソースではなく、書物・フィールドワーク、ネット、A I、実際の人物との話など、いろんな種類の方向性から得られる情報ソースがある。それらに触れさせる発問、突っ込み、切り返し、課題設定が必要。まだまだインプットが少ない。ネットだけでなく情報を生徒にシャワーのように浴びせる。

③ 経済・経営的な視点

- ・ 発表を聞いて、商業高校として、経済・経営的な視点をもっと組み入れると面白くなると感じました。おんりょくん。ネーミングはいい。それを地方車に付けたら収益がいくら見込めるかといったような視点をもってほしい。
- ・ 今、高知の中で何がホットか。世の中を見渡し、牧野植物園や、今のタイミングであれば「あんぱん」がでてきてほしかった。
- ・ 高知商業のブランドといえば、市商の野球。それをいかしてほしい。また、健幸というテーマであれば、ぜひお年寄りにもできる、筋力や持久力がつく取り組みもどうですか。
- ・ アメリカの大学の事例や日本ハムのエスコンフィールドHOKKAIDOとかの誘致合戦も参考にしてみてもいい。
- ・ 高知商業のブランド価値を活用して、大人のファンを引き付け、お金をおとしてもらう。
- ・ ここが商業高校なのだ。ということを考えると商業的な力が増すのではないか。
- ・ お金がないと生徒に伝える文化は素晴らしい。
- ・ 商業なのに、イベントになっていやしないか。お店屋さんごっこになっていやしないか。やかんに穴が開いているので、塞ぎましたといったような活動では、イベントになってしまう。クリスマスではなく、平時はどうか、といったことにも思考し活動を考えることも大事。
- ・ それぞれの企画・活動について、それで収支が明確か、利益を見込めるのか。利益が見込めれば、サステイナブルな取り組みとなる。金勘定をすることが大事。また、発表でも成功であれ、失敗であれ、収支について発表でふれることができれば、商業高校としての位置づけを強くアピールできるし、学びにもなる。

(議題2) 生徒教職員が楽しく学ぶ学校の在り方の創造と共有

④ 探究的な視点

- ・ 「地域を創造する市商」という統一テーマに引っ張られすぎていないか。各学科コースが、統一テーマにもとづいて、テーマを設定しているが、生徒の興味関心からスタートをした方がよいのでは。

- ・ 身に付けさせたい資質・能力と生徒の「学びたい」がつながることが大事。生徒が、自分にあった方法や学び方を、自分で選べるのが楽しさにつながる。
- ・ 生徒も先生も、自分が楽しいと思ってないと伝わらない。自分が楽しくないと、周りも巻き込めない。
- ・ 優等生的というか、大人が求めている答えになっているのではということ。「人とのつながり」が何回も出てきたことから感じた。
- ・ 興味関心を深めたら社会的なものをつなげてやる。一緒に楽しむ。
- ・ 大谷翔平は、自分がやりたいから野球をやるを究めて、地域経済どころか世界経済を動かす人になった。生徒の興味関心が大事。
- ・ 科コースを越えて、フードロス、こども食堂を横串にして一緒にやったら、研究の幅がずっと広がりそう。
- ・ 命題をはっきりさせ、論理的に筋道を立てて考えることを大事にしてほしい。でないと、結果として評価できる結果とならない。
- ・ 商業科の課題研究だけでやろうとすると学びが深まらない。国語であってもどんどんこう徹底的に議論をさせて、課題をあげさせていくとかいう授業を展開していかないと、いわゆる普通高校における総合や探究の時間の1つになってしまう。
- ・ やっぱり教科等の探究は別の時間ではない。思考をしていくことを、今まで前頭前野の部分で整理して覚え、整理したものを引き出す、正解を早く出すという訓練ばかり、今まで学校はしてきた。イノベーションとか解決をするというのは、もう脳の使い方が全然違うものです。AIの研究で、はっきりしてきてるんですけど、自分の脳幹があって、脳がその上に広がっていて、前頭前野と言葉のやりとりでいろんな物事を判断したりとか、表したりっていうことをしていくんですけど、この間に整理されたものと、今まで体験してきたことは無意識下に眠ってまして、その散らばってるものを出してくるのは、ひらめきというんですね。だから、課題解決をするのに、イノベーションのものすごい言葉がどこか別のところから降ってくることはないんです。自分のうちにしかないんですよ。この脳の使い方というのは数学だろうが、国語だろうが英語だろうが一緒のはずなんですね。それができる子は難しい問題を解き始めるし、勉強も面白くなるんですよ。
- ・ 続けていく？（今年の生徒の興味関心と、次の学年の生徒の興味関心は同じではないはず）
- ・ それぞれの子どもたちが、テーマをみつけて先生方が対応しきれなくなるのは喜ぶべき状況であり、大成功。先生方が苦しくなるのは、このようにテーマが多岐にわたること。すべてフォローしていくのは難しい。なので外部の人を、単発ではなく定期的に継続して活用しては。

IV

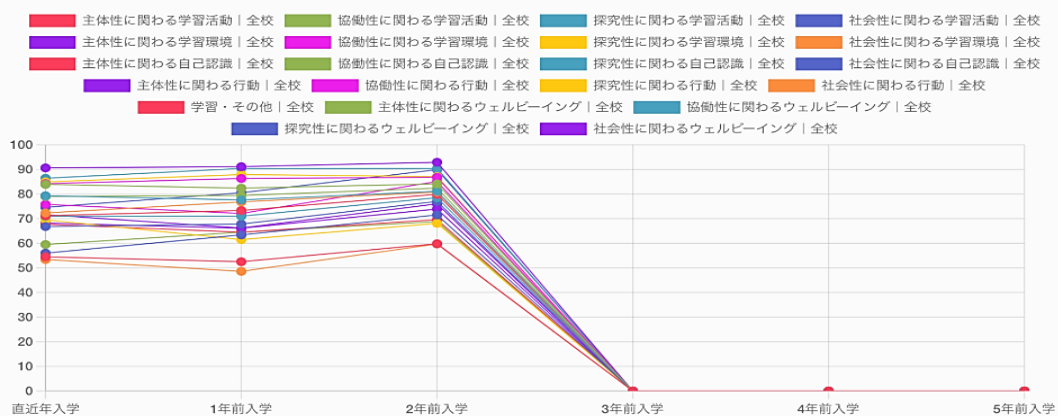
補足資料

アンケート結果 (2023年度)	平均の範囲	●全校			○▲県平均			○■全国平均		
	回答年度	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
質問事項 <input type="checkbox"/> 一括チェック	回答者数	268人	265人	271人	967人	1009人	977人	41574人	42369人	33684人
<input checked="" type="checkbox"/> 主体性に関わる学習活動		54.5%	52.5%	59.8%	58.6%	57.5%	60.5%	50.5%	51.1%	52.4%
<input type="checkbox"/> 5.自主的に調べ物や取材を行う		74.3%	69.1%	70.8%	74.1%	73.0%	73.6%	71.5%	71.9%	72.3%
<input type="checkbox"/> 6.学校外のいるいるな人に話を聞きに行く		34.7%	35.8%	48.7%	43.0%	42.0%	47.4%	29.5%	30.3%	32.5%
<input checked="" type="checkbox"/> 協働性に関わる学習活動		84.0%	82.4%	84.1%	82.9%	80.6%	80.9%	76.1%	75.0%	72.1%
<input type="checkbox"/> 7.グループで協力しながら学習や調べものを行う		94.4%	94.0%	93.7%	91.4%	89.7%	87.6%	86.9%	84.4%	78.1%
<input type="checkbox"/> 8.活動、学習内容について生徒同士で話し合う		94.0%	90.6%	92.6%	92.1%	89.6%	89.4%	89.9%	87.7%	85.1%
<input type="checkbox"/> 9.活動、学習内容について大人(教員や地域の大人)と話し合う		56.7%	61.5%	64.6%	62.8%	63.5%	68.5%	46.6%	50.8%	51.7%
<input type="checkbox"/> 13.生徒同士で活動、学習の振り返りを行う		90.7%	83.4%	85.6%	83.2%	77.9%	77.2%	68.7%	67.0%	64.2%
<input checked="" type="checkbox"/> 探究性に関わる学習活動		79.2%	77.6%	81.1%	78.1%	77.0%	77.8%	67.5%	68.2%	65.1%
<input type="checkbox"/> 10.自分の考えを文章や図表にまとめる		75.0%	72.8%	74.2%	72.2%	71.0%	72.5%	67.1%	66.4%	64.4%
<input type="checkbox"/> 11.話し合った内容をまとめる		87.7%	84.5%	87.5%	85.7%	84.3%	82.2%	79.9%	79.5%	76.2%
<input type="checkbox"/> 12.活動、学習のまとめを発表する		75.0%	75.5%	81.5%	77.2%	76.5%	79.0%	64.2%	66.8%	62.9%
<input checked="" type="checkbox"/> 社会性に関わる学習活動		56.1%	63.4%	71.5%	59.4%	61.4%	65.7%	46.7%	48.7%	48.0%
<input type="checkbox"/> 14.地域の魅力や資源について考える		52.6%	64.5%	71.6%	60.2%	64.2%	69.0%	45.8%	48.1%	50.2%
<input type="checkbox"/> 15.地域の課題の解決方法について考える		56.7%	64.5%	77.1%	62.3%	65.8%	70.9%	44.1%	47.2%	47.2%
<input type="checkbox"/> 16.日本や世界の課題の解決方法について考える		59.0%	61.1%	65.7%	55.7%	54.6%	57.4%	49.7%	50.4%	48.3%
<input checked="" type="checkbox"/> 主体性に関わる学習環境		90.5%	91.1%	92.9%	90.4%	90.2%	92.7%	87.6%	86.3%	87.1%
<input type="checkbox"/> 20.失敗してもよいという安全・安心な雰囲気がある		81.0%	83.4%	88.2%	82.8%	83.9%	88.7%	80.4%	78.0%	79.1%
<input type="checkbox"/> 21.挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある		95.1%	95.5%	94.5%	94.4%	94.5%	94.4%	93.5%	92.0%	91.2%
<input type="checkbox"/> 26.自分が何かに挑戦しようと思ったとき、周りは手を差し伸べてくれる		92.9%	96.6%	94.5%	94.0%	94.5%	95.4%	91.3%	90.3%	90.9%
<input type="checkbox"/> 33.目標や当事者意識を持って挑戦している人がある		89.6%	87.5%	93.7%	88.3%	85.9%	91.2%	84.6%	84.1%	86.2%
<input type="checkbox"/> 35.周りの大人は、自分に関わることについて自分で決めることを尊重してくれる		94.0%	92.5%	93.7%	92.5%	92.3%	94.0%	90.2%	89.4%	90.3%
<input checked="" type="checkbox"/> 協働性に関わる学習環境		84.3%	86.3%	86.8%	83.5%	83.1%	86.5%	76.8%	75.0%	74.7%
<input type="checkbox"/> 22.人と違うことが尊重される雰囲気がある		86.6%	91.3%	86.7%	85.7%	85.9%	86.8%	83.8%	80.5%	80.4%
<input type="checkbox"/> 23.ありのままの自分が尊重される雰囲気がある		89.6%	90.6%	87.1%	87.4%	89.1%	89.1%	86.0%	84.3%	84.1%
<input type="checkbox"/> 27.自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある		87.3%	90.2%	90.8%	89.9%	88.9%	91.5%	86.4%	85.0%	84.3%
<input type="checkbox"/> 28.立場や役割を超えて協働する機会がある		84.0%	83.4%	86.7%	82.5%	80.6%	87.1%	76.8%	75.9%	75.8%
<input type="checkbox"/> 30.人の挑戦に関わらせてもらえる機会がある		73.9%	76.2%	82.7%	72.9%	72.2%	78.4%	64.0%	62.7%	63.0%
<input checked="" type="checkbox"/> 探究性に関わる学習環境		84.9%	87.9%	87.1%	83.7%	83.8%	86.7%	82.1%	80.0%	81.3%
<input type="checkbox"/> 17.本音を気兼ねなく発言できる雰囲気がある		82.8%	88.7%	89.7%	83.6%	85.0%	88.5%	83.3%	82.1%	83.3%
<input type="checkbox"/> 18.将来のことや実現したいことを話し合える大人がいる		77.2%	87.2%	90.8%	79.8%	83.6%	89.8%	80.0%	80.6%	83.6%
<input type="checkbox"/> 24.周りの大人は、じっくりと話を聞き、考える手助けをしてくれる		89.6%	96.2%	92.3%	91.3%	92.6%	93.1%	88.9%	87.4%	88.3%
<input type="checkbox"/> 31.お互いに問いかけあう機会がある		83.2%	82.3%	86.7%	81.9%	80.1%	84.9%	76.2%	75.3%	74.9%
<input type="checkbox"/> 36.生徒の意見が学校での意思決定に反映される雰囲気がある		91.8%	85.3%	76.0%	81.7%	77.3%	77.1%	78.2%	71.1%	71.4%
<input checked="" type="checkbox"/> 社会性に関わる学習環境		72.5%	76.8%	80.8%	73.4%	75.4%	80.5%	60.8%	60.5%	62.2%
<input type="checkbox"/> 19.地域から大切にされている雰囲気を感じる		89.2%	92.8%	87.5%	87.4%	89.9%	89.4%	81.0%	77.7%	80.3%
<input type="checkbox"/> 25.地域の人や課題など、興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる		86.6%	86.4%	89.3%	84.8%	87.3%	90.2%	76.5%	76.0%	77.2%
<input type="checkbox"/> 29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある		63.8%	70.2%	82.7%	72.8%	73.5%	81.5%	54.1%	56.0%	57.4%
<input type="checkbox"/> 32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある		65.7%	71.7%	78.2%	68.1%	69.0%	75.9%	53.9%	53.7%	54.6%
<input type="checkbox"/> 34.地域に、尊敬している・憧れている大人がいる		57.1%	62.6%	66.4%	54.9%	58.8%	66.1%	52.7%	51.2%	54.9%
<input checked="" type="checkbox"/> 主体性に関わる自己認識		71.2%	73.3%	79.9%	68.2%	70.2%	77.1%	66.9%	66.3%	71.0%
<input type="checkbox"/> 51.自分にはよいところがあると思う		85.4%	87.2%	86.7%	79.6%	81.1%	82.2%	77.7%	76.9%	79.1%
<input type="checkbox"/> 52.私は、自分自身に満足している		58.6%	58.9%	67.5%	55.7%	57.4%	65.7%	53.7%	53.6%	57.2%

<input type="checkbox"/> 51.自分にはよいところがあると思う	85.4%	87.2%	86.7%	79.6%	81.1%	82.2%	77.7%	76.9%	79.1%
<input type="checkbox"/> 52.私は、自分自身に満足している	58.6%	58.9%	67.5%	55.7%	57.4%	65.7%	53.7%	53.6%	57.2%
<input type="checkbox"/> 39.現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	71.6%	74.7%	83.4%	70.9%	73.1%	78.9%	71.8%	71.1%	76.2%
<input type="checkbox"/> 40.目標を設定し、確実に行動することができる	61.9%	64.2%	76.4%	59.2%	63.7%	73.6%	58.5%	57.8%	65.6%
<input type="checkbox"/> 53.自分で計画を立てて活動することができる	64.9%	66.0%	73.8%	62.1%	63.4%	71.2%	58.4%	58.4%	64.0%
<input type="checkbox"/> 37.うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	82.1%	85.3%	86.7%	78.9%	80.8%	84.2%	77.0%	75.2%	78.1%
<input type="checkbox"/> 47.忍耐強く物事に取り組むことができる	73.5%	76.6%	84.5%	70.4%	71.6%	83.3%	68.0%	67.9%	73.6%
<input checked="" type="checkbox"/> 協働性に関わる自己認識	79.0%	79.4%	82.4%	75.9%	75.2%	80.2%	77.5%	76.6%	78.2%
<input type="checkbox"/> 43.自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	95.5%	94.7%	95.6%	93.2%	93.4%	94.7%	93.4%	92.7%	93.3%
<input type="checkbox"/> 42.相手の意見を丁寧に聞くことができる	92.2%	91.7%	95.6%	88.3%	89.6%	91.4%	89.1%	88.7%	89.6%
<input type="checkbox"/> 49.自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	73.1%	75.1%	76.0%	68.8%	67.1%	74.3%	69.8%	68.8%	70.0%
<input type="checkbox"/> 50.友達の前で自分の意見を発表することは得意だ	59.0%	64.2%	66.4%	54.5%	56.2%	63.1%	57.8%	57.4%	59.6%
<input type="checkbox"/> 44.共同作業だと、自分の力が発揮できる	75.0%	71.3%	78.6%	72.7%	68.0%	76.4%	69.8%	67.9%	70.3%
<input checked="" type="checkbox"/> 探究性に関わる自己認識	71.1%	71.0%	78.5%	68.6%	69.9%	77.0%	68.5%	67.9%	71.8%
<input type="checkbox"/> 38.家や寮で、誰かに言われなくても自分から勉強する	57.8%	61.1%	69.7%	60.0%	63.1%	69.4%	65.3%	65.2%	73.3%
<input type="checkbox"/> 61.地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる	66.8%	65.7%	77.5%	62.3%	63.7%	69.6%	51.9%	50.9%	50.5%
<input type="checkbox"/> 67.学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている	79.9%	84.5%	89.7%	80.0%	82.4%	87.8%	81.8%	78.8%	81.5%
<input type="checkbox"/> 45.情報を、勉強したことや知っていることと関連づけて理解することができる	83.2%	81.5%	88.2%	81.2%	80.4%	86.9%	82.2%	80.7%	84.2%
<input type="checkbox"/> 46.勉強したものを実際に応用してみる	71.6%	65.7%	76.4%	67.7%	66.4%	76.3%	67.1%	64.9%	70.7%
<input type="checkbox"/> 41.複雑な問題を順序立てて考えることが得意だ	45.5%	47.2%	56.1%	44.9%	46.9%	56.8%	46.5%	47.6%	52.4%
<input type="checkbox"/> 54.一つ二つの立場だけでなく、できるだけ多くの立場から考えようとする	85.4%	84.9%	86.3%	78.6%	81.5%	86.4%	79.5%	80.1%	82.9%
<input type="checkbox"/> 48.自分を客観的に理解することができる	78.4%	77.7%	83.8%	74.0%	75.1%	83.0%	73.9%	74.6%	78.7%
<input checked="" type="checkbox"/> 社会性に関わる自己認識	66.8%	67.8%	77.0%	62.9%	62.5%	73.3%	61.4%	60.4%	64.3%
<input type="checkbox"/> 65.将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい	50.7%	46.0%	58.3%	46.2%	42.1%	57.8%	42.2%	41.8%	47.6%
<input type="checkbox"/> 56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	68.7%	67.2%	78.6%	63.8%	62.2%	75.4%	59.5%	58.1%	62.2%
<input type="checkbox"/> 58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	71.6%	76.2%	84.9%	68.5%	70.0%	78.8%	67.2%	64.5%	68.0%
<input type="checkbox"/> 57.私に関わることで、変えてほしい社会状況が少し変えられるかもしれない	52.6%	57.0%	64.9%	47.1%	49.0%	60.3%	48.3%	48.0%	52.7%
<input type="checkbox"/> 62.地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある	70.1%	76.6%	86.3%	68.5%	69.5%	80.8%	69.9%	68.4%	72.0%
<input type="checkbox"/> 55.18歳選挙権を取得したら、選挙に行くと思う	73.9%	80.8%	84.5%	74.6%	75.7%	81.3%	81.0%	82.2%	82.5%
<input type="checkbox"/> 59.地域で起きている課題と世界で起きている課題は、お互いに関連しあっていると感じる	81.7%	75.8%	83.8%	74.7%	73.3%	82.1%	71.9%	72.0%	74.2%
<input type="checkbox"/> 64.将来、見知らぬ土地でチャレンジしてみたい	74.6%	74.3%	73.8%	75.0%	74.5%	73.6%	73.9%	73.3%	74.0%
<input type="checkbox"/> 63.将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う	48.1%	47.9%	66.1%	42.0%	42.8%	59.4%	40.8%	42.3%	48.0%
<input type="checkbox"/> 60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい	69.4%	65.7%	77.9%	62.0%	58.4%	72.8%	56.2%	53.7%	58.3%
<input type="checkbox"/> 68.自分の将来について明るい希望を持っている	73.5%	78.1%	87.8%	70.6%	71.2%	85.2%	72.1%	68.9%	75.4%
<input checked="" type="checkbox"/> 主体性に関わる行動	71.6%	66.2%	76.0%	69.3%	68.9%	75.5%	68.1%	66.5%	69.6%
<input type="checkbox"/> 71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	79.1%	73.2%	80.8%	81.0%	75.8%	81.2%	79.4%	75.1%	76.3%
<input type="checkbox"/> 74.授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った	64.2%	59.2%	71.2%	57.7%	62.0%	69.9%	56.8%	57.8%	62.9%
<input checked="" type="checkbox"/> 協働性に関わる行動	75.7%	72.1%	85.1%	72.5%	69.2%	81.1%	72.1%	69.6%	72.3%

<input checked="" type="checkbox"/> 協働性に関する行動	75.7%	72.1%	85.1%	72.5%	69.2%	81.1%	72.1%	69.6%	72.3%
<input type="checkbox"/> 72.自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた	77.2%	73.2%	89.3%	74.0%	69.6%	83.5%	71.3%	68.4%	72.1%
<input type="checkbox"/> 73.友人などから、意見やアドバイスを求められた	74.3%	70.9%	80.8%	70.9%	68.8%	78.6%	73.0%	70.9%	72.6%
<input checked="" type="checkbox"/> 探究性に関する行動	69.6%	61.5%	68.1%	63.6%	63.3%	68.1%	65.5%	63.7%	66.8%
<input type="checkbox"/> 75.授業の内容について、「なぜそうなのか」と疑問を持って、自分で考えたり調べたりした	71.6%	66.8%	72.7%	63.9%	66.7%	70.8%	66.3%	65.3%	69.0%
<input type="checkbox"/> 76.公式やきをまりを習う時、その根拠を理解するように、自分で考えたり調べたりした	67.5%	56.2%	63.5%	63.3%	59.9%	65.3%	64.7%	62.1%	64.6%
<input checked="" type="checkbox"/> 社会性に関する行動	53.5%	48.6%	59.7%	52.6%	52.5%	55.7%	33.8%	33.1%	32.4%
<input type="checkbox"/> 69.いま住んでいる地域の行事に参加した	50.7%	44.5%	52.0%	52.3%	50.3%	50.8%	39.1%	35.7%	33.0%
<input type="checkbox"/> 70.地域社会などでボランティア活動に参加した	41.4%	36.2%	53.9%	38.8%	41.6%	44.1%	21.8%	23.7%	25.1%
<input type="checkbox"/> 77.先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした	68.3%	64.9%	73.1%	68.3%	67.0%	73.6%	60.1%	59.8%	61.7%
<input checked="" type="checkbox"/> 学習・その他	67.8%	64.5%	69.6%	60.5%	56.6%	64.4%	70.2%	65.7%	67.5%
<input type="checkbox"/> 90.この学校を中学生におすすめできる	89.9%	88.7%	87.8%	80.8%	78.1%	82.4%	83.5%	76.3%	76.3%
<input type="checkbox"/> 78.国際社会の課題解決に貢献したい	64.9%	61.5%	67.5%	56.0%	51.1%	60.8%	61.5%	57.0%	59.3%
<input type="checkbox"/> 79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	61.2%	58.9%	60.9%	53.5%	50.2%	57.2%	57.0%	55.0%	57.5%
<input type="checkbox"/> 80.客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることができる	55.2%	49.1%	62.4%	49.6%	44.5%	55.9%	51.4%	51.7%	54.9%
<input checked="" type="checkbox"/> 主体性に関するウェルビーイング	59.3%	64.5%	68.8%	56.0%	54.9%	59.5%	55.0%	52.5%	51.9%
<input type="checkbox"/> 81.今の生活全般の満足度	71.4%	75.8%	86.3%	70.0%	69.6%	74.4%	69.0%	68.0%	68.9%
<input type="checkbox"/> 82.普段のあなたの幸福度	74.7%	77.0%	83.4%	68.8%	68.0%	75.1%	70.8%	68.8%	68.5%
<input type="checkbox"/> 83.現在の日常生活に不安や心配事がない	61.6%	61.9%	61.3%	58.9%	53.8%	55.8%	52.5%	49.7%	46.8%
<input checked="" type="checkbox"/> 協働性に関するウェルビーイング	86.3%	90.4%	90.4%	83.4%	86.2%	88.1%	85.2%	82.9%	83.7%
<input type="checkbox"/> 66.この学校に入ってよかったと思う	86.6%	89.8%	91.1%	83.7%	87.0%	88.9%	88.9%	84.9%	86.2%
<input type="checkbox"/> 84.学校の一員だと感じている	90.3%	94.0%	90.0%	87.2%	89.6%	88.6%	87.4%	85.5%	85.6%
<input type="checkbox"/> 85.大切な人を幸せにしたり、楽しませたりしていると思う	82.1%	87.5%	90.0%	79.4%	81.9%	86.6%	79.5%	78.2%	79.4%
<input checked="" type="checkbox"/> 探究性に関するウェルビーイング	74.8%	80.5%	89.9%	73.7%	75.6%	88.5%	72.6%	71.9%	79.9%
<input type="checkbox"/> 68.自分の将来について明るい希望を持っている	73.5%	78.1%	87.8%	70.6%	71.2%	85.2%	72.1%	68.9%	75.4%
<input type="checkbox"/> 86.自分の将来についての見通し（将来こういう風でありたい）を持っている	74.3%	84.2%	90.8%	76.6%	80.5%	90.1%	74.2%	75.1%	82.3%
<input type="checkbox"/> 87.自分の将来に向けて大切だと思うことを実行している	76.5%	79.2%	91.1%	73.9%	75.2%	90.3%	71.5%	71.6%	82.0%
<input checked="" type="checkbox"/> 社会性に関するウェルビーイング	68.3%	66.1%	73.9%	60.9%	60.1%	68.7%	58.5%	56.1%	59.4%
<input type="checkbox"/> 58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	71.6%	76.2%	84.9%	68.5%	70.0%	78.8%	67.2%	64.5%	68.0%
<input type="checkbox"/> 60.住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい	69.4%	65.7%	77.9%	62.0%	58.4%	72.8%	56.2%	53.7%	58.3%
<input type="checkbox"/> 88.この地域を、将来暮らす場所としておすすめできる	78.0%	73.2%	78.2%	64.9%	64.8%	72.2%	68.9%	66.9%	69.9%

コーホート別 一覧



生徒の多様な能力や興味を学びへ

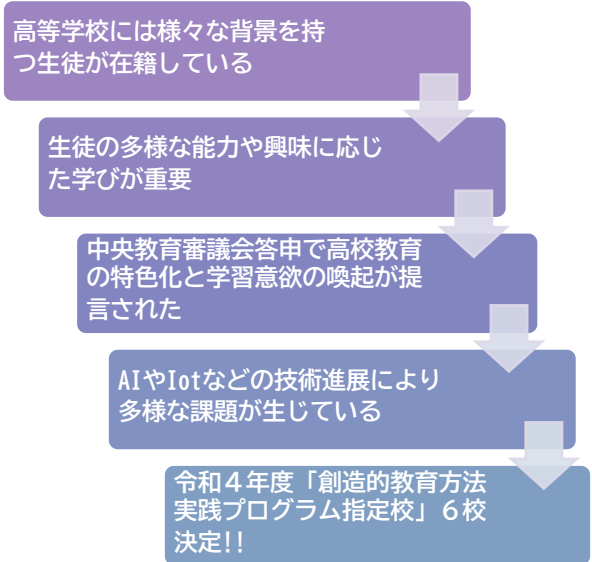
文責：三嶋

高知商業高校の取組について興味を持って聞いてくださる外部の方や、生徒・保護者と話すとき、「知らなかった部分」がたくさんあることに気づき、「質問に答えられなかった」「急いで担当の先生に話を聞きに行った」などの経験を多くの先生方がお持ちのことと思います。

そこで、2年目を迎えた市商地域創造プログラムの各科コースでの取組や事業全体の進捗状況等の情報共有を目的に、校内教職員向けの通信を定期的に発信していきます。

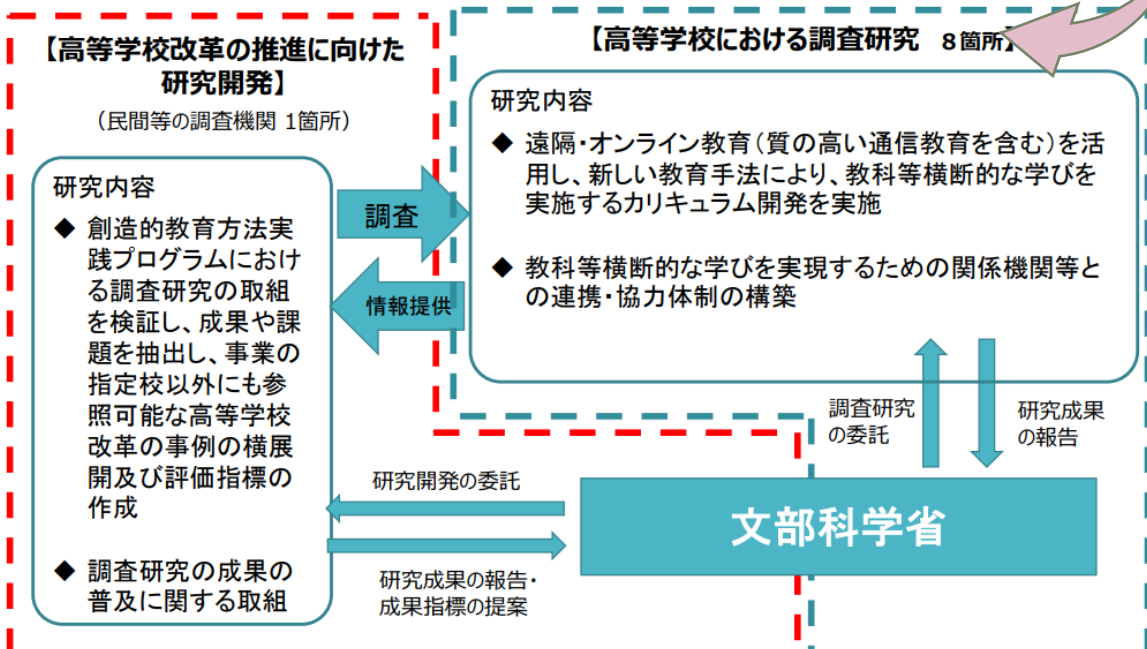
知らなかった部分を知ることで、保護者面談で生徒の様子を伝えられたり、生徒から課題研究の問いを引き出せたり、事後のポートフォリオに反映させるなど、様々な場面で「対話」が生まれ、「ちょっといい話」や「うれしい話」が増えるきっかけになればと考えています。

文部科学省の「新時代に対応した高等学校改革推進事業（創造的教育方法実践プログラム）」の背景・概要



- | | |
|------------|----------|
| 北海道教育委員会 | 伊達開来高等学校 |
| 山形県教育委員会 | 小国高等学校 |
| 学校法人益田永島学園 | 明誠高等学校 |
| 高知市教育委員会 | 高知商業高等学校 |
| 福岡県教育委員会 | 糸島高等学校 |
| 熊本県教育委員会 | 人吉高等学校 |

新時代に対応した高等学校改革推進事業（創造的教育方法実践プログラム）全体像（イメージ）



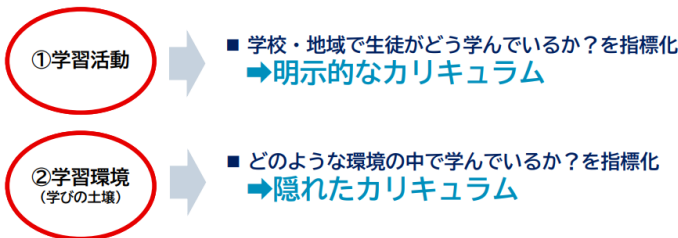
組織診断ツールで「見える化」する

文責：三嶋

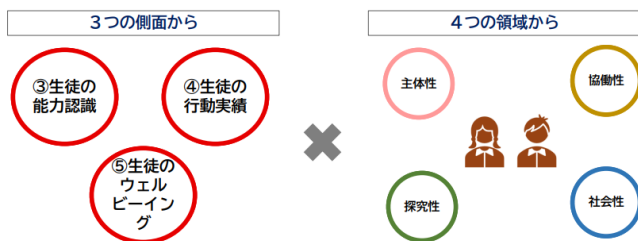
三菱UFJリサーチ&コンサルティング説明資料より引用

「学校の教育活動を生徒の視点から見える化」する組織診断ツールです

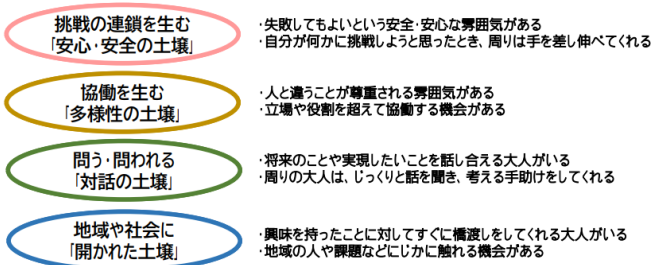
学校の教育活動を2つの側面から数値で見える化します



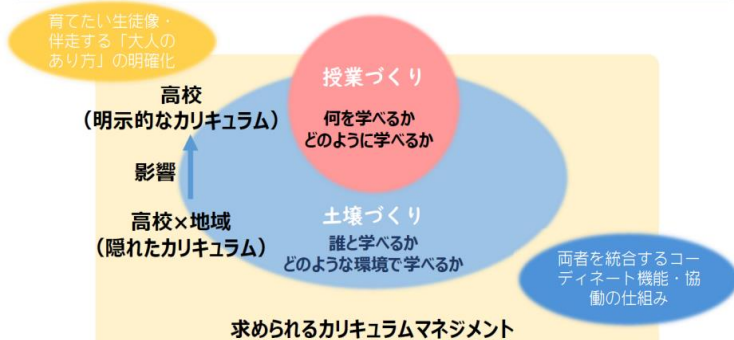
「生徒の資質・能力の伸び見える化」する組織診断ツールです



生徒の周囲 (学校や地域社会) における、学びにかかわる人との関係性や、機会、雰囲気の有無について把握します



高校での学びのインプット、アウトプットに関わる多様な指標で、学校の取組と生徒の変化のつながりを検討するためのデータをご提供します。



「学校の教育活動を生徒の視点から見える化」、「生徒の資質・能力の伸び見える化」する組織診断ツール「高校魅力化評価システム」について、お知らせします。本校では9月実施に向けて、8月30日職員会(教職員)及び始業式(全校生徒)に説明をします。

全国28校(普通科20校・創造的8校)の「新時代に対応した高等学校改革推進事業」実施校のデータ(・学年別、学科別集計など・自校と県平均値、全国平均値との比較・生徒の成長の経年変化)比較等により、本校の分析結果を「次の一手」の検討に役立てていきます。

高校魅力化評価システムの特徴は3つ

① 学習環境への着目(左の資料参照)

② 学校改善への活用

○ 「学校経営ビジョン」に基づく成果指標の設定・取組みを検証して、教育活動のさらなる推進を図る。

③ 事業検証への活用(島根県の例)

○ 学びの場における人との関係性や機会、雰囲気といった「隠れたカリキュラム」としての「学びの土壌」を豊かにするために有効な要素として、島根県で取り組まれている体制構築(コンソーシアム構築)や人材配置(コーディネーター等の配置)との関係性の分析を行った。

○ コンソーシアムを構築している学校や教員以外のコーディネーター等を配置している学校では、そうでない学校と比べ、学びの土壌が豊かであるという結果が得られた。

文部科学省の「新時代に対応した高等学校改革推進事業(創造的教育方法実践プログラム)」令和5年度指定校2校決定

佐賀県教育委員会 伊万里実業高等学校
宮崎県教育委員会 五ヶ瀬中等教育学校

生徒に自分の考えを書かせる手立て

文責：三嶋

2学期公開授業者の先生方の実践から生徒の思考を引き出す工夫をご紹介します。授業者として、3つの事例を参考にいただいたり、お互いの授業の工夫を情報交換していただくことはもちろん大歓迎です。またホーム主任・副主任として、各担当として、それぞれの立場で、機会を捉えて、大人が手を出しすぎず生徒が成長する市商祭を応援していければと思います。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）中央教育審議会
（令和3年1月26日）（情報の加速度的な進展に関する対応の遅れ）より一部抜粋

- 数学や科学に関するリテラシーは引き続き世界トップレベルである一方、言語能力や情報活用能力、デジタル時代における情報への対応（**複数の文書や資料から情報を読み取って根拠を明確にして自分の考えを書くこと、テキストや資料自体の質や信ぴょう性を評価することなど**）などの課題がある。

養老 孟 司



ものがわかる ということ



「深い本質、真理
が書かれている」
「世界が違って
見えてくる一冊」

TV、ラジオ、新聞など各メディアで紹介
発売後大増刷!!
単行本 定価1780円（10%税込）

「まえがき」より
一部抜粋

若い頃は、勉強すれば、なんでも「わかる」と思っていた。（中略）子供の頃から、手あたり次第に本を読む癖があった。ということは、どういう本でも読めばわかるはずだ、という前提が自分にあったに違いない。同様に、若い頃の私は本のように世界を「読もう」としたのである。世界が本であるなら、確かに読める。**「字は読める」が中身を本当に理解したかどうかは、もちろんわからない。**

だから苦手があった。**それは社会の事象と人の心である。**社会のことは複雑すぎて、手に負えない。読もうと思っても、読み切れない。人の心なんて、読めたものではない。（後略）

【事例1】RESAS

RESAS（内閣府が提供する地域経済分析システム）を活用されたのは、大住先生と山岡先生の「ソフトウェア活用（2年生3単位）」。実際のデータをもとに、データ集計・グラフ作成・考察を通して、自分自身ができたこと・できなかったこと・これからやってみたいことを振り返り、データ活用に向けての期待が膨らみました。

【事例2】QRコード

問題解答における手立てとして、QRコードを用いてヒントを提供されたのは、西森先生の「科学と人間生活（1年生2単位）」。「サウナで火傷しないのはなぜか？」という問いについて段階的な設問に対するヒントと、まとめ記述を引き出すためのヒントを用意していました。QRコードを読み込むことで、複数のヒントをもとにグループで中心発問に迫る生徒たちの姿に、世の中の何を見ても「なぜだろう」と思考しだす生徒が育つ授業だと感じました。

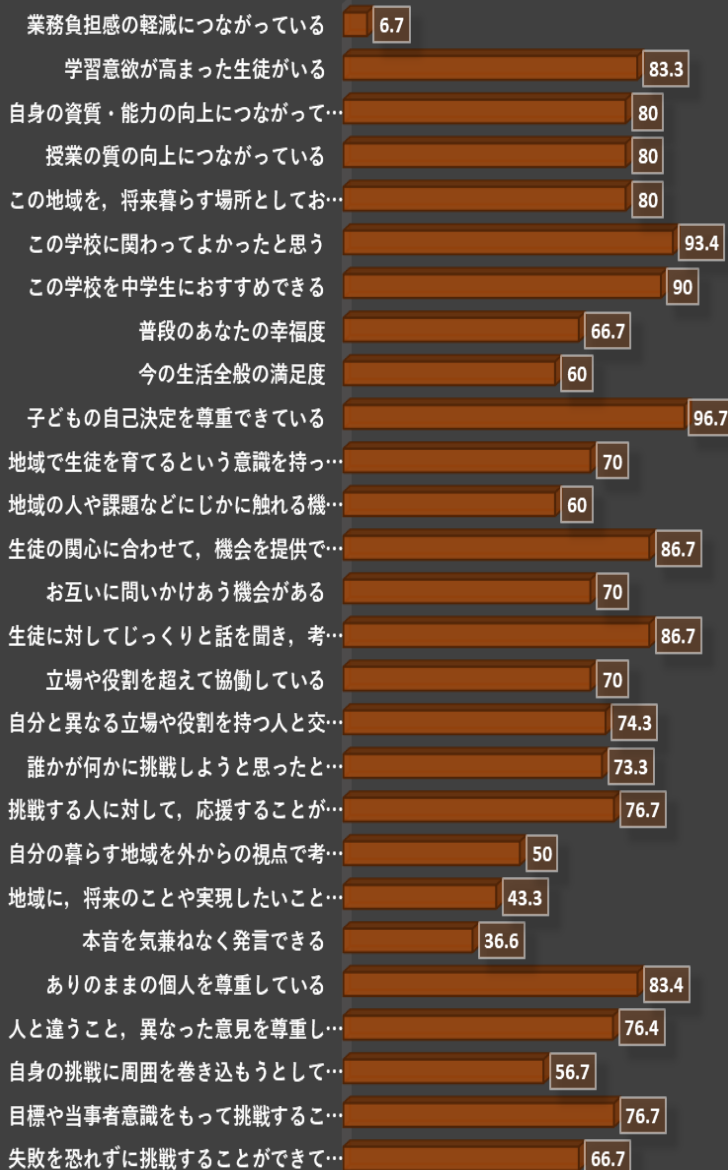
【事例3】市商祭とのリンク

特活の重要性や醍醐味を、教科の学びとリンクさせたのは、大井先生の「ビジネス基礎（1年生3単位）」。「経営者の視点」から分析力を身に付け、だから「このかき氷（商品）を販売する！」と言える市商生になってほしいと「先生の願い」を語りました。1年生の市商祭が各教科で学んだことを発揮する文化祭となるよう、独自のアンケートなどによる市場調査を行うなど、商業科の授業を通して学んだ「STP（市場細分化・ターゲットとする市場の決定・自社の立ち位置）、市場標的、商品決定、価格設定、接客」を踏まえLHRで協議することを生徒に促しました。生徒の考えを引き出す問いかけを繰り返していくことは、活動に意味を持たせ、生徒の「自分たちの力で挑戦した。成功させた。」という達成感につながることを感じました。

高校魅力化評価システム結果について

文責：三嶋

肯定的回答の割合（教職員アンケート9月実施）



9月に実施しました高校魅力化評価システム結果の**肯定的回答の割合 (%)**をグラフに示しました。

アンケートにご協力いただきました30名の先生方ありがとうございました。

[傾向]

全体的に肯定的回答の割合が高いものの、「業務負担の軽減につながっている」については肯定的回答の割合が極端に低かったことから、「生徒の学習意欲の高まり」や、「自身の資質・能力の向上」、「授業の質の向上」を実感しながらも、多くの先生方が負担を感じていることが分かりました。

[肯定的回答の割合が高い項目]

- **子どもの自己決定を尊重できている** 96.7%
- **この学校に関わってよかったと思う** 93.4%
- **この学校を中学生におすすめできる** 90.0%

[肯定的回答の割合が低い項目]

- **業務負担感の軽減につながっている** 6.7%
- **本音を気兼ねなく発言できる** 36.6%

[回答者 教職員30名中]

○ 性別	男性	63.3%
	女性	33.3%
	回答しない	3.3%
○ 年代	20代	16.7%
	30代	16.7%
	40代	26.7%
	50代	23.3%
	60代	16.7%

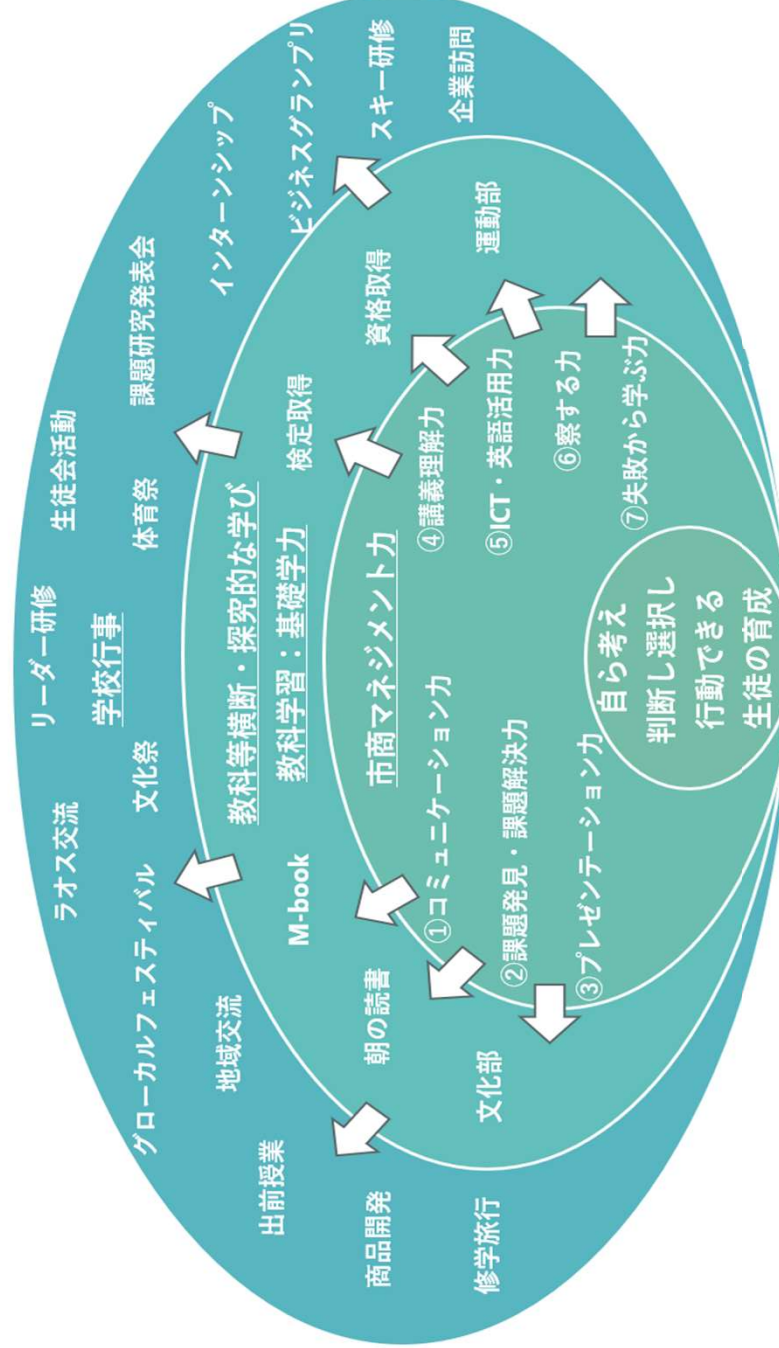
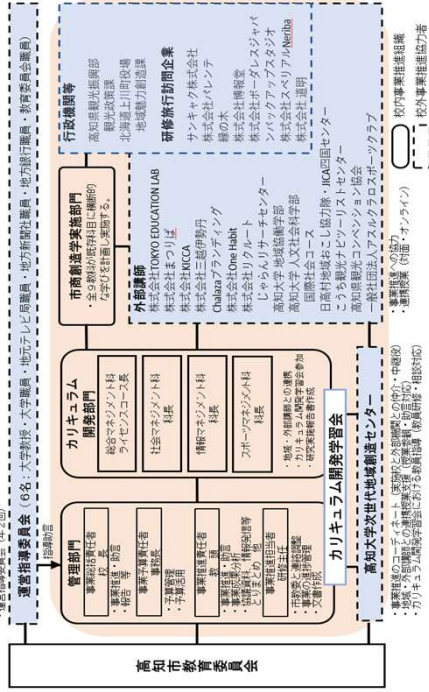
新時代に対応した高等学校教育等の在り方について、中央教育審議会答申等においては、「高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化や、教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成」が提言されたところです。

高校魅力化評価システムの「教職員アンケート」と同時に実施した「**生徒アンケート**」の結果は、**カリマネ委員会や職員会等で情報共有**できるよう準備しています。

本校のスクール・ミッション(めざす学校の姿)やスクール・ポリシー(めざす生徒の姿・教育課程方針・求める生徒像)に照らし合わせて、**着目する項目を絞り込み、「良さ」を伸ばし「課題」を克服するために活かせる学校での取組について協議する際に活用**していく予定です。

【高知商業高等学校】市商地域創造プログラム 地域を創造する市商～これからの教育を考える～

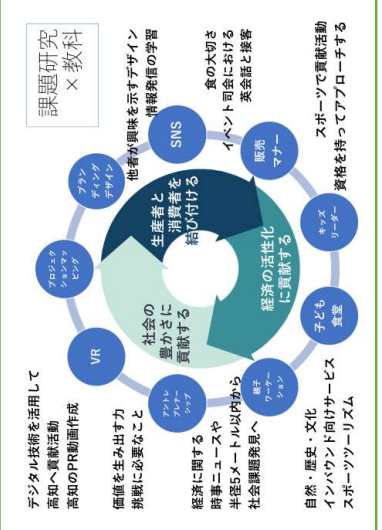
【関係機関との連携・協働体制】



教わるから「自ら学ぶ生徒」へ 教えるから「支援する教職員」へ

- 令和5年度目標
4. 学科で教科等横断的な学習を展開
地域創生・地域貢献について学ぶ
コンソーシアム等の連携体制構築
市商地域創造プログラム報告会を開催
カリキュラム効果と資質・能力の分析

- 取組状況
外部講師を活用し、他教科と連携授業
高知県内をフィールドに学びを展開
科コース長がCNとなり外部講師と連携
2・3年生によるプレゼンテーション
記述アンケート等による調査へ



- 成果
高知県内に就職希望した生徒100%内定
国公立大学に合格した生徒過去最高の教職員67.4%
来場者全員が本校の評価が高まったと回答
教職員の協働性・同一性・主体性に好影響

- 残された課題
適切なパフォーマンス課題の設定
教職員のフアシリテート技術の向上
生徒と周りの大人との対話による支援
的確に相手に伝わる言語を獲得させる
学校全体で取組む体制づくり

- 今後の進め方
課題研究グラウンドデザイン作成
対話を取り入れた教職員研修の実施
生徒を主体とした教職員等による支援
アンケート調査をもとにRO実践へ
楽しく学ぶための余白づくりへ

和知高校に行こう

～高校選びのヒント～

校舎
和知高校は、和知町にあり、自然豊かな環境の中で学ぶことができます。

設備
最新の設備を整え、充実した教育環境を提供しています。

校風
明るく活気あふaining 校風で、個性を伸ばすことができます。

PR方法
SNSを活用し、広くPRを行います。

効果
多くの生徒が、和知高校で素晴らしい体験をしています。



お宝展覧会

和知高校の歴史を振り返る貴重な機会です。

和知高校の歴史を振り返る貴重な機会です。

和知高校の歴史を振り返る貴重な機会です。

CHALLENGE INFOGRAPHIC

和知高校のPR活動

全国生産者 1位：ししとう、なす、3位：ピーマン
子どもが好きな野菜カンパシ 1位：なす、2位：ピーマン
高知ならではの野菜、食料を販売することをお勧めします。

高知県の特産物、郷土料理を知らないのはもったいない!
まずは知るところから、この活動を始めましょう。

高知県のPR活動
子どもが好きな野菜、食料を販売することをお勧めします。

新規性・独自性
子どもが好きな野菜、食料を販売することをお勧めします。

課題の整理
高知県のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

効果
多くの生徒が、和知高校で素晴らしい体験をしています。

和知高校のPR活動

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

igot it in Tokyo

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

企画書

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

ビジネスアイデアを作成するにあたって、最も難しかったことは何でしたか?

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

お弁当project

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

お弁当project

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

和知高校のPR活動、食料を販売することをお勧めします。

文部科学省 新時代に対応した高等学校改革推進事業(創造的教育方法実践プログラム)
 令和5年度市商地域創造プログラム事業報告書
 (令和5年4月～令和6年3月)

発行年月 令和6年3月
 発行 高知商業高等学校
 〒780-0947 高知県高知市大谷6番地
 TEL: 088-844-0267 (代表)
 FAX: 088-844-3693
 E-mail: kochisho-h@city.kochi.lg.jp



积存反始